

(様式2(1))

事業所名 グループホームふたば

作成日: 令和7年 1月 24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	知見者の参加が得られるように取り組まれる事が望ましい。議事録ファイルの設置等により、運営推進会議の内容を公開する事が望まれる。	知見者や地権者に運営推進会議に入ってもらい意見交換する。運営推進会議議事録作成後は外部者に公開します。	来年度からは、定期的に小野市内グループホーム事業所の管理者等に会議の出席を促します。運営推進会議議事録は、見えやすい玄関先に設置します。	6ヶ月
2	8	職員が権利擁護に関する制度について、研修内容に加える等、学ぶ機会を持つ事が望まれる。	各職員と共に権利擁護を学んでいく。	権利擁護のパンフレットや研修動画視聴を行い理解していく。	12ヶ月
3	23	思いや意向の把握において、課題分析シート等に状況把握の時期を記入して追記する等、経過や継続性が把握しやすい工夫が望まれる。	利用者様の思いや意向を確認して明確にします。	各職員は利用者担当者がいます。日々やケアプラン更新時期に、ご本人や家族様の思いや意向を把握し、再アセスメントや課題分析を行い反映します。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。